



第71回岐阜市身体障害者福祉大会

11月2日(土)に、第71回岐阜市身体障害者福祉大会を、メディアコスモス「みんなのホール」において、約140名の参加者が集い開催しました。

五十川会長、三島婦人の会会長の挨拶の後、柴橋岐阜市長、黒田市議会議長ほか多くの来賓の方にご祝辞をいただきました。

続く協会長表彰では、長年福祉援護の向上に寄与された7名に援護功労表彰(代表:佐藤裕平さん)、障がいを克服し自立更生された2名に自立更生表彰(代表:馬渕裕嘉志さん)、金婚のお祝い11組(代表:吉田幸広さんご夫妻)の表彰が行われ、表彰状を受け取ると温かい拍手に包まれました。

その後、議事に入り、2件の決議案と大会宣言案が提案され、質疑を経て、満場の拍手をもって採択され終了しました。大会の運営にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

決議

一、事業者による障害者への合理的配慮の提供を促進すること（提案者:第5支部 山中克巳）

障害者差別解消法の一部改正により、今年4月から民間の事業者に対しては、障害のある者への差別等をなくすため合理的配慮の提供が義務化されました。合理的配慮とは、事業者や行政機関などに、障害のある方から社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応が求められた際、負担が重すぎない範囲で対応を行ういわゆるオーダーメイドの配慮です。

今般の障害者差別解消法の改正を踏まえて合理的配慮の事例を拡充するなどの改正も行われました。合理的配慮は、障害のある人にとっての社会的なバリアを除去することが目的ですので、求めがあつた内容どおりに対応することは困難な場合でも、障害のある方と事業者の双方が持っている情報や意見を伝え合い、建設的対話に努めることで、解決策を見出すことが期待できます。

ある方法について実施することが困難な場合であっても、別の方法で社会的なバリアを取り除くことができないか、実現可能な対応案を障害のある人と事業者等が一緒になって考えていくことが重要です。

このためには、例えば、普段本人が行っている対策や、事業者が今ある設備で活用できそうなものなど、情報を共有し、双方がお互いの状況の理解に努め、柔軟に対応策を検討することが重要です。

事業者や各相談機関が参考にできる好事例を活用し、合理的配慮の提供をはじめ、障害者差別の解消に向けた取組が、社会全体に一層浸透していくことを期待しています。

公共交通などの日常生活及び就労、娯楽など社会生活全般に係る分野に全ての障害のある者に必要な合理的配慮を求め、それが実施されることにより、さらに障害差別の解消につながるとの強い思いからこの決議を提案させていただきました。

一、災害時における二次避難に向けた対応を強化すること（提案者：第9支部 宮本春男）

今年1月の能登半島地震など大規模な災害が頻発していることで障害者や高齢者の防災に対する関心が高まっているが、まだまだ課題や改善するべき点は多い。

身体に障害のある人にとって、災害発生時に「助けて」と声を上げるのはとても勇気のいることです、「みんなも大変な時に、迷惑をかけてはいけない」という思いから、避難することを諦めてしまう人さえいます。自宅での避難生活は、避難所との連携があれば可能であるが、実際には個々に適した細かな応対が必要になります。

東日本大震災以降、福祉避難所の在り方の見直しをはじめ、国は平成25年の災害対策基本法を改正し、各市町村に避難行動要支援者名簿の作成を義務化、さらに令和3年の改正により、要支援者が避難するための個別計画の策定を努力義務付けるなど、徐々に制度の改善やインフラ整備が進んでいます。

災害時において特別な配慮を要する方の避難を受け入れるために開設される福祉避難所へ安心して避難し、避難生活できるためには、個別避難計画を作成する必要があります。

しかし、個別避難計画策定や避難行動支援は地域住民の善意に頼っている点から、避難計画づくりが進んでいない状況です。

災害により多くの命や暮らしを失われないよう現実を変えていかなければなりません。平時から地域の人たちと障害者、高齢者、福祉関係者、行政などが連携を深め、地域の仕組みづくりを行うことが必要との強い思いからこの決議を提案させていただきました。

宣 言

日本国内でも、地震や豪雨による被害が各地で起きているなか、本日ここに、第71回岐阜市身体障害者福祉大会を開催することができた。

岐阜市身体障害者福祉協会は、創設時、厳しい社会環境と対峙し、障害の有無に関わらずだれもが生きやすい社会を実現しようと、県内障害者団体とともに連携し活動してきた。

地域共生社会の実現には、すべての人々が必要とする情報を取得し、利用し、そして円滑に意思疎通を図ることができることが極めて重要である。

そのためにも、障害のある者の立場から地域社会での障害についての情報を発信していくことが重要な使命である。

また、事業者による合理的配慮の提供の義務化が民間企業に周知徹底され実施されるよう、障害者と事業者の双方が持っている情報や意見を伝え合い、建設的対話に努めていかなければならない。

さらに、災害時における障害者の避難支援の強化に向けて地域社会と連携して取り組んでいく。

私たちは、近い将来、障害の有無にかかわらず、すべての人々が人権や尊厳を大切に、分け隔てなく共に豊かに幸せに支え合う共生社会の実現に向けて、会員並びに他の障害者団体と連携し、一致団結して行動することを誓い、ここに宣言する。

令和6年11月2日

第71回岐阜市身体障害者福祉大会

岐阜市身体障害者福祉協会長表彰 おめでとうございます

大会の席上で次の方が表彰されました。

●援護功労表彰（敬称略）

林 静子（長良東）

後藤まつ子（長良東）

仲井 順子（芥見南）

山口百合子（長森北）

篠田 一成（長森南）

三輪那弛子（日 野）

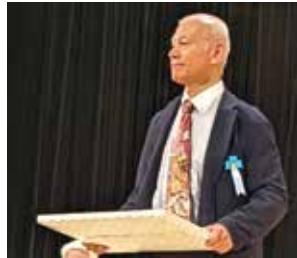
佐藤 裕平（西 郷）



援護代表佐藤裕平さん

●自立更生表彰

山口祐一郎（長森南）
馬渕裕嘉志（長森南）



自立代表馬渕裕嘉志さん

●金婚表彰

河合 喜代（岩野田）
木谷 洋（長良東）
吉田 幸広（鷺山）
神戸 謙次（岩）
田中 純（藍川）
仲井 順子（芥見南）
坂井田正義（柳津）
永田 敏博（柳津）
土本 安夫（三輪南）
前馬 一善（三輪南）
宮本 春男（三輪南）



金婚代表吉田幸広さんご夫妻

第26回 青壯年部ボウリング大会

6月16日（日）に、青壯年部ボウリング大会をマーサボウルにて開催しました。参加者は22名でした。

例年通り、各自2ゲームを行い、個人戦とともに、支部対抗の団体戦としました。ストライクやスペアが決まると歓声が上がり、真剣な中にも和気あいあいとした雰囲気で進みました。

ゲーム終了後は、表彰式とミーティングを行い、今年度の事業予定を発表して、参加を呼びかけました。



相談員研修旅行

4月21日（日）に、福井県の三方五湖・天空テラスへの岐阜市身体障害者相談員研修旅行を開催し、29名の相談員が参加しました。

三方五湖レインボーライン山頂公園の天空のテラスは、開設が2020年4月とまだ新しく、初めての方が多く、「天空のテラス」からの（当日、雨の心配をしましたが、快晴となりました。）雄大な日本海と三方五湖の絶景を楽しみ、昼食はホテルでの懐石料理に舌鼓し、旅行を通じ相談員相互の親睦を図ることができました。

婦人の会研修旅行

6月17日（月）に、岐阜市身体障害者福祉協会婦人の会研修旅行を開催しました。

婦人の会研修旅行は、これまで4年間コロナ禍のために中止していましたが、会の活性化と情報交換のため再開しました。

平成29年に実施した飯田さくらんぼ狩りを再度ということで25名の参加を得て実施しました。

今年は、天候の関係か？さくらんぼの実の付きが悪く、さくらんぼ狩りの会場が当初予定していた場所と異なり、下肢の不自由な方にとって歩き難い場所となってしまいましたが、帰りは会場からバスまで車での送迎をしていただきました。

相談員研修会

7月12日（金）に、第1回岐阜市身体障害者相談員研修会が岐阜市役所で開催され、終了後、令和6年度岐阜市身体障害者相談員協議会総会を開催しました。

研修会では、49名の相談員が

- ・障がい福祉課の業務について
 - ・障害者生活支援センターについて
 - ・基幹相談支援サテライトについて
- 質疑応答を交え研修しました。

また、総会では、令和5年度事業報告・決算、令和6年度事業計画・予算の承認及び役員の改選が行われました。



身体障害者相談員（7月1日改選）

任期令和6年7月1日～令和8年6月30日
(敬称略、ゴシック新規相談員)

田中 廣司 (長 良)	田中 祥司 (長良西)
田中 義正 (長良東)	下山伊都子 (長良東)
岩佐 幹也 (鷺 山)	岩前 勝彦 (鷺 山)
井深 正美 (常 磐)	所 猛義 (岩野田)
長谷川洋一 (岩野田北)	田中 守 (金 華)
武藤 明 (京 町)	岡本 豊二 (明 徳)
後藤 章 (本 郷)	東田喜美男 (徹 明)
馬場 保子 (本 荘)	武藤 秀夫 (三 里)
安田 信昭 (三 里)	浅野美代子 (市 橋)
木本 正彦 (鏡 島)	大原二巳男 (木ノ本)
廣瀬 治子 (白 山)	林 一考 (梅 林)
村下 真規 (華 陽)	河合 庵 (日 野)
平川 知子 (日 野)	小木曾章宏 (長森南)
山口祐一郎 (長森南)	大森 浩二 (長森北)
平工 博稔 (長森北)	山中 克巳 (長森西)
澤田 守作 (長森東)	向山美貴子 (岩)
林 貞子 (芥 見)	五十川勝也 (芥見東)
吉川 房江 (芥見東)	原口 久子 (芥見南)
田中 純 (藍 川)	大谷 隆 (藍 川)
大野 省二 (加納東)	臼井 隆雄 (加納西)
森 喜彦 (茜 部)	長屋健太郎 (鶴)
中田 照代 (厚 見)	松岡 武 (厚 見)
青木美恵子 (日置江)	坂井田正義 (柳 津)
伊藤 金夫 (柳 津)	井川 洋子 (島)
藤田 好亀 (早 田)	高橋 光政 (城 西)
土田 千代 (木 田)	加藤小夜子 (木 田)
榎原 知典 (黒 野)	渡邊 照美 (黒 野)
笠浦 恵 (方 県)	佐藤 裕平 (西 郷)
一柳 正和 (七 郷)	小林 洋明 (合 渡)
早川 孝道 (網 代)	吉村 直 (三輪南)
宮本 春男 (三輪南)	高井 史子 (視 覚)
志水 道嘉 (聴 覚)	加藤千津子 (難 聴)

第29回 マインドスポーツ大会

7月14日(日)に、マインドスポーツ大会を市橋
コミュニティーセンターにて開催しました。

成績上位の方は以下のとおりです。 (敬称略)

●将 棋	優 勝	南谷 孝志 (木ノ本)
	準優勝	村瀬 浩祐 (西 郷)
	三 位	井口 忠雄 (西 郷)

●才セロ 優 勝 村瀬 浩祐 (西 郷)

準優勝 武藤 明 (京 町)

三 位 篠田 一成 (長森南)

●麻 雀 優 勝 岩佐 幹也 (鷺 山)

準優勝 大谷 隆 (藍 川)

三 位 早矢仕光司 (西 郷)

●百人一首 優 勝 大森 浩二 (長森北)

準優勝 松尾 真 (本 郷)

三 位 近藤 信子 (鷺 山)



会員研修旅行

会員研修旅行が、Aグループ (川北地域：8月18日) 「トヨタ博物館見学と蒲郡メロン狩り」バス3台、Bグループ (川南地域：9月8日) 「夏の涼風を求めて・湯の山・御在所山頂」バス3台の2グループに分かれて行われました。

今回は、A・Bグループの日程を分けたことにより、車いすのまま乗車できる方が多く参加できました。

第23回 全国障害者スポーツ大会

第23回全国障害者スポーツ大会が10月26日～28日佐賀県で行われました。

岐阜市の選手の成績は、以下の通りでした。

●陸 上

100メートル 山田 翔太 選手 1位

立ち幅跳び 山田 翔太 選手 1位

立ち幅跳び 松原 誠 選手 3位

ジャベリックスロー 松原 誠 選手 3位

●アーチェリー コンパウンド30メートル

ダブルラウンド 亀山 康裕 選手 3位

●フライングディスク

ディスタンス 平川 知子 選手 2位

●水 泳

25メートル自由形 羽賀 昭徒 選手 1位

25メートル自由形 加治 里紗 選手 1位

25メートルバタフライ 羽賀 昭徒 選手 1位

50メートル自由形 加治 里紗 選手 1位

祝 岐阜市長表彰を受賞 おめでとうございます

10月29日(火) 開催の第44回岐阜市民福祉大会において岐阜市長表彰状の贈呈があり、次の方が受賞されました。おめでとうございます。

●自立支援 (敬称略)

森 諭 (鷺山)
 田中 祥司 (長良西)
 安田 尋美 (三里)
 浅野美代子 (市橋)
 平工 博稔 (長森北)
 加藤 明 (厚見)
 一柳 正和 (七郷)
 小林 洋明 (合渡)
 瀬尾 弘 (網代)



安田尋美さん

第34回 なかよし運動会

11月16日(土)に、岐阜県福祉友愛アリーナにて開催しました。

約140名の参加者が集まり、昨年に引き続き「公式ワナゲ」1種日のみを行いました。

参加者全員が3ゲームを行い、3ゲーム中の最高点で順位を争いました。

パーカクトなどの高得点はなかなか出ない展開でしたが縦・横・斜めの列が揃うなどの好プレーには、拍手と歓声が上がっていました。

大会最後の「お楽しみ抽選会」は、ご夫婦ともに当たりどよめきが起こることもありました。

参加賞は、美味しいお菓子で家族が喜んでいました。

今回初めての会場で、競技の進行において説明者のマイクの音が会場に反響して聞き取りづらかったこと、土足のまま会場に入り施設の係の方とトラブルがあったことなど反省点もありましたが、楽しい一日となり、視覚障害者へのボランティアの皆さん、市障がい福祉課の職員の方のご協力ありがとうございました。



中部ブロック身体障害者相談員研修会

11月11日(月)福井県福井市で開催された第26回日身連中部ブロック身体障害者相談員研修会に參加しました。

今回は2つのテーマでの研修でした。

一つは、補装具費支給制度について、もう一つは大規模災害から身を守る災害の備え『誰もが助かるために』という内容です。

災害に関してこのテーマの『誰もが』というところに、この日の研修の最大の目線があつて、いかにリスクを抱えている人たちを取りこぼさないか、それに普段の訓練ということも大切ですが、ここで語られていた日常とは、私たちと、健常者の人たち。子供たちとの交流の中で、そのことを培ってゆこうというスタンスでした。

オールラウンドのテーマが、私たちの中でも実現するためには、改めて社協や自治体、協会との共同作業の作成が如何に大切なことを学びました。

補装具費支給についてのお話では、今の経済情勢のことが時々お話の中に出てきて、その中の枠組みの中で出来る限りのやり方、という内容ですが、講師の方の内容の中で、もっとある部分、補装具を国が負担すれば、それは障害のある対象となる人が、より働くことによって、納税者に転じるという費用対効果の話をされていましたが、それを語られるのなら、より安価で使い勝手のいい製品を作るためのメーカーへの行政指導があつてもいいのではないか?と思いました。

司、司で動いていただいているのはわかりますが、随分昔、スウェーデンの障害者のためのユニバーサルデザイン(美的にもグッドな)の車が載っていました。

くだんの国なら、どのような施策をとられたでしょう、車大国の日本で、どのような車が一台も作られないという現実が、補装具一つにもつながっている気がします。 (第2支部 岡本豊二)

青壮年部からLINEのお知らせ

青壮年部でLINEグループを立ち上げています。青壮年部の事業の告知や参加者募集から意見交換まで、様々な情報を載せています。

興味のある方は、右のQRコードを読み取り、青壮年部副部長の大森浩二までご連絡ください。



青い鳥の葉書 ありがとうございます

令和5年度(一財)岐阜市身体障害者福祉協会事業報告及び収支決算

令和5年度事業報告

令和5年度は、自動販売機管理収益が平成30年度の80%まで回復し、令和5年度の協会実施事業も参加負担金の増額及び行事への参加者を会員、家族及び介助者に制限することにより、すべて実施することができました。

一方、分会を中心としての事業活動はコロナ禍の影響が残り、新規会員確保も進まず、150名の会員減となりました。

1 会務の運営及び支部・分会総会の開催

(1) 会議の開催

理事会2回開催、評議員会1回開催、監事會1回開催、支部長会議4回開催、分会長会議2回開催

(2) 支部・分会数：9支部50分会

(3) 年度末会員数：1,170人

2 第70回岐阜市身体障害者福祉大会

10月21日(日)ぎふ清流文化プラザで開催

3 身体障害者スポーツ等振興事業

(1) 第23回全国障害者スポーツ大会参加選手 壮行会 10月13日(金)岐阜市役所で開催

(2) 第33回なかよし運動会

11月28日(火)ふれあいドームで開催

(3) 第28回岐阜市身体障害者マインドスポーツ 大会

7月16日(日)市橋コミュニティーセンター
で開催

4 福利厚生事業

(1) 会員研修旅行

8月20日(日)Aグループ 湯の山御在所
84人、Bグループ 蒲郡メロン狩り115人
参加

(2) 第25回鵜飼を見る会

9月20日(水)川南地域対象に開催、76人
参加

5 広報啓発活動事業

(1) 12月5日～10日岐阜市障害者芸術祭「才 ンリーワン わたしたちの芸術祭」に参画

(2) 機関紙「ぎふ身障だより」の2回発行

(3) 岐阜市身体障害者福祉援護のしおりの発行

(4) ホームページの運営

6 青壮年部活動

ボウリング大会、懇親会を開催

7 婦人の会活動

3月8日(金)婦人の会役員会を開催

8 支部、視覚総会助成、2支部・16分会活

動助成

9 岐阜市身体障害者相談員協議会から事務委託

10 岐阜市から障害者生活支援センター管理の 受託事業(令和4～8年度)の実施

11 収益事業

(1) 売店事業(ハートフルスクエアG内喫茶 店委託)

(2) 自動販売機設置事業 52施設 94台

令和5年度会計収支決算書

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産	30,411,723	29,865,902	545,821
2. 基本財産	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	33,411,723	32,865,902	545,821
II 負債の部			
1. 流動負債	399,093	214,729	184,364
負債合計	399,093	214,729	184,364
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産(基本財産)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
積立金(特定資産)	25,476,817	25,566,365	△89,548
繰越利益	4,535,813	4,084,808	451,005
一般正味財産合計	30,012,630	29,651,173	361,457
正味財産合計	33,012,630	32,651,173	361,457
負債及び正味財産合計	33,411,723	32,865,902	545,821

正味財産増減計算書

令和5年4月1日～令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	29,446,312	27,239,582	2,206,730
資産運用益	528	434	94
会費収入	117,000	132,000	△15,000
事業収入	25,146,972	23,412,536	1,734,436
助成金収入	2,596,000	3,269,057	△673,057
負担金収入	1,584,750	422,500	1,162,250
雑収益	1,062	3,055	△1,993
(2) 経常費用	28,890,290	24,826,886	4,063,404
支援事業	4,720,279	2,395,571	2,324,708
収益事業	3,705,597	3,265,723	439,874
相談事業	13,868,682	13,621,109	247,573
管理費(事務局費)	6,595,732	5,544,483	1,051,249
当期経常増減額	556,022	2,412,696	△1,856,674
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	6,892,337	4,300,000	2,590,000
繰入金収入	6,800,000	4,300,000	2,500,000
積立金収入	90,000	0	90,000
雑収入	2,337	0	2,337
(2) 経常外費用	6,890,452	6,824,437	66,015
繰入金支出	6,800,000	4,300,000	2,500,000
積立金支出	452	2,519,437	△2,518,985
雑支出	90,000	5,000	85,000
当期経常外増減額	1,885	△ 2,524,437	2,526,322
当期一般正味財産増減額	557,907	△ 111,741	669,648
資産振替額	452	371	81
財政安定積立金	△90,000	2,519,066	△2,609,066
前期損益修正額	△106,902	0	△106,902
一般正味財産期首残高	29,651,173	27,243,477	2,407,696
一般正味財産期末残高	30,012,630	29,651,173	361,457
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	33,012,630	32,651,173	361,457